今年を飛躍の年に

業界の発展に寄与

各団体と情報交換緊密に

松本　圭司

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より大阪文紙事務器卸協同組合に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

毎年年末の恒例行事となっている漢字は「戦」でした。政治経済では昨年2月に始まったロシアによるウクライナへの侵攻も約1年が経過しましたが、終結に向けての先行きが見えません。ウクライナ産穀物輸出の停滞やOPECによる減産に伴う原油高などがドミノ式に影響し、エネルギー価格に左右される電力・ガス・水道料金の上昇が企業の物価を押し上げ消費者への負担が増えており、食料品を含む消費財の値上げが続き物価の高騰を招いています。

また円安の進行や原材料価格の高騰に起因する物価の上昇により、消費活動に与える懸念が高まりつつある中、依然として先行き不透明な状況が続いています。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種の進捗に伴い感染防止と社会経済活動の両立が進むことで回復の兆しを見せる一方で、年末・年始の旅行制限撤廃による感染のリバウンドが懸念されます。

明るいニュースでは、国内プロ野球でオリックスが26年ぶりに日本一に輝き、日本シリーズで対戦したヤクルトスワローズの村上宗隆選手が、令和初の3冠王と56本のホームランを打ち、王貞治さんの記録を塗り替える快挙がありました。

またサッカーワールドカップで日本チームはベスト8に進めませんでしたがドイツ、スペインを破るジャイアントキリングで予選リーグトップの決勝トーナメント進出を果たしました。各種のスポーツ競技や文化・芸能の公演が有観客での開催になりつつあることは、見る者、参加する者にとって嬉しい限りです。

非日常の社会活動が少しずつ普段の状況に戻りつつありますが、時差出退勤や在宅勤務の推奨により、自宅からのリモートによる会議を行うなど、未だ行動制限を続けていることを余儀なくされています。

業界においては消費財の相次ぐ値上げにより、消費者の購買意欲の低下や買い控えにより、売上・利益とも大幅な減少に見舞われており厳しい年になりました。

先行きが見通せない予測困難な状況下において、年々組合員も減少しており流通の変化に対応する取り組みが急務です。

当卸組合は1月の総会もコロナ感染防止のため書面決議総会と致しました。これもひとえに賛助会員・組合員各位のご理解と温かいご支援、協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

1日も早く今までの日常に戻れるように尽力してまいります。

各団体とも今後も情報交換を緊密に行い、業界発展に寄与できる組合になるよう努力をしてまいる所存ですので、何卒皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。【大阪文紙事務器卸協同組合理事長、株式会社アケボノクラウン社長】

行動すれば活路ある

サッカーW杯で感じたこと

寺浦　浩之

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロシアのウクライナ侵攻、急激かつ振れ幅の大きい円安、原材料の高騰、新型コロナウイルスの感染継続、元首相暗殺、東京五輪の汚職事件、ワイルドファイアのような地球規模の異常気象等、国内外で過去に例がないような大事件や大災害が頻発したまさに怒涛の1年でした。

大変な1年でしたが、暗く停滞しがちな気持ちを救ってくれたのが、サッカーワールドカップでの日本代表チームの活躍ではなかったでしょうか。

ドイツやスペインと予選リーグが同組という、誰が見ても絶望的な組み合わせでしたが見事に強豪を撃破し、その後の決勝トーナメントではクロアチアにPK戦の末に惜敗しましたが、選手の皆さんのプレーや監督の采配を見ていますと、前回のワールドカップまでとは違った粘り強さや良い意味でのしたたかさを実感することができました。目標のベスト8にこそ残れませんでしたが、そこに残れるレベルに十分に達したなと、ひとりのサッカーファンとして勝敗に関係なく感慨が深かったです。

余談になりますが、対クロアチアのPK戦のあとに、SNS上で批判されることもあったGKの権田選手ですが、帰国後のTV出演で臆することなく試合を振り返って笑顔で語っておられるのを拝見し、学生時代から長らくGK（下手ですが）をしてきた私としてはお気持ちを察するところもあり、ホッとした次第です。GKは本当にメンタルの強さが必要なポジションです。

会社経営もサッカーに通じるものがあると考えています。試合に関して言えば、監督はピッチの外からゲーム全体を俯瞰して打つ手を考える。GKはピッチの中から俯瞰して他のプレイヤーに指示を出したり、気持ちを鼓舞したりという役割を担う。また、試合外では監督やコーチはチーム力向上のためにフォーメーション（組織編制）の検討、戦術（商品開発）のベクトルをチーム（社員）全員が理解して、フォーメーション（組織編制）をゲーム展開に合わせて臨機応変に変更し、かつ効果的な選手交代（人材抜擢）を行なえば堂々とした勝利をおさめることができました。準備をしっかりして、可能な限りの知恵を出し、最大限のフットワークで行動すれば私たちにも何とか活路があるはず。

次回のワールドカップまでは4年ありますが、日本代表チームは次に向けて始動しています。これを見習って私としましても、クツワを進化発展させ、ひいては文具業界の発展に少しでもいい影響が残せるように、負けずに始動していこうと誓う年始です。1年経った時に納得できる動き方ができたか、そして成果が残せたか。真剣勝負の1年です。

皆様がこの1年、ご健勝でご活躍されますことを祈念致しまして、年始のご挨拶とさせていただきます。【クツワ株式会社社長】

ファイルに固執せず

幅広く新製品開発を推進

宮本　彰

明けましておめでとうございます。

昨年はウクライナ危機の長期化による原油価格のさらなる高騰のほか、中国の「ゼロコロナ政策」や米国の金融引き締めを背景とした景気減速、円安の急速進行など、暗いニュースの多い年でした。今後も、世界的なインフレと、それに伴なう利上げの動きなどが、引き続き注目されます。

昨年は、当社にとっても激動の1年でした。

まずは、急激な円安。ほとんどすべての生産を海外に頼る当社としては、為替の変動はそのまま原価高に直結し、加えて材料費、物流費の高騰もあいまって、やむなく複数回にわたる価格改定を実施させていただきました。

流通の皆様方にはご協力いただき、ありがとうございました。

生産面では、当社のファイル生産工場であるアジア各国でコロナによるロックダウンや操業停止が相次ぎ、長期欠品を発生させてしまいました。

また、テプラにおいては、世界的な半導体不足の影響をまともに受け、これまた長期欠品を多数発生させてしまいました。

流通の皆様方には、多大なご迷惑をおかけいたしましたことを、おわび申し上げます。

しかしながらコロナによる国民の生活の変化は、新しいビジネスも多数生んでいます。当社のアルコール自動手指消毒器「テッテ」は、おかげさまでヒット商品となりました。コロナ対策用品として、「飛沫キャッチャー」や「CO2モニター」なども、新しい市場を形成しつつあります。

今、文具の市場はきびしい冬の時代を迎えようとしています。残念ながら当社の主力品である「ファイル」は、年々需要が減少しています。ペーパーレスの流れは、今回のテレワークでさらに加速しました。

このため当社では、ファイルに固執せず先述の衛生関連用品をはじめ、パソコンやデスク周り、さらには家庭での収納用品、雑貨関係、防災用品等、文具というジャンルにこだわることなく幅広く新製品開発を進め、あらゆるビジネスチャンスを伺っていきます。

全国の文具店様の変化も、今、自分自身、肌で感じています。マスクをはじめとする、衛生関連用品が店先にずらりと並んでいる文具店様は、もはや当たり前となりました。文房具というジャンルにこだわらず、文具店で扱える大きさや価格の商品であれば、タイムリーにビジネスチャンスととらえ、なんでも取り扱うお店が増えてきているのです。そしてドラッグストアや雑貨店などとも、その境目は感じられなくなってきました。

変化はピンチでもあり、チャンスでもあります。チャンスととらえて、これを生かしていく企業こそが、これからの業界の未来を支えていくものと、確信している昨今です。【株式会社キングジム社長、日本ファイルバインダー協会会長】

信頼される企業目指し

努力が実を結び飛躍する年

髙橋　俊泰

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととと存じ上げます。

昨年は、未だ感染状況の波が収まらない新型コロナウイルスや、原油・原材料価格の高騰に起因した物価の上昇等、先行きの不安を抱えた1年となりました。

当業界においては、ハイブリッドワークの浸透が進み、一何のためにオフィスに来るのか」という課題が再考された年でもありました。コミュニケーションのため、シナジー創出のため等、企業によってオフィスに求める役割は異なりますが、お客様の要望を的確に捉え、弊社の強みである「オフィスまるごと」をどのように提案できるかが今年の課題と考えております。

ライオン事務器は昨年10月に創業230周年を迎えました。これまで支えてくださった皆様に感謝すると共に、これからも一歩一歩着実にお客様から信頼される企業を目指してまいります。

弊社の2023年版総合カタログは、「My Favorite Office」をコンセプトとして、多彩な個性と価値が響き合うオフィスを実現する商品を多数ご紹介しております。

オフィス家具では、屋外用家具を思わせる遊び心のあるリラックス空間をつくりだすロースタイルアイテム「Skog（スコーグ）」、オフィスのライブラリー空間を演出するユニットシェルフ「vrede（ブレーデ）」、チーム単位での新たな発想やイノベーションを生み出すコラボレイティブファニチュア「Coalle（コアレ）」等を新発売いたします。事務用品では、L字に大きく開くPPカラーホルダー「PELTO（ペルト）」にポストカードサイズとA4三つ折りサイズを新たに追加するほか、ドッキングできるポーチが付いたノートパソコン用ケース「LEBIMO（レビモ）」等を新発売いたします。また、新型コロナウイルスの感染対策商材として、昨年11月より「除菌LED照明」の取り扱いを開始しました。新型コロナウイルスや緑膿菌に対して有効なLEDであり、オフィスの会議室や医療・福祉施設のロビー等、人が触れることが多い場所や常時点灯している場所への設置を見込んでいます。

弊社の新商品が、皆様の新しい働き方の一助となれば幸いです。

2023年の干支は癸卯（みずのとう）で、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。困難の多かった2022年を乗り越え、新しいオフィスに対する我々の取り組みが実を結び、成長する年になればと思います。

本年も一層のご愛顧、ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様方の益々のご発展とご活躍を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。【株式会社ライオン事務器社長】

顧客満足度を高め

「思い切ってやる」を実行

湯本　秀昭

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。皆様とともに、新年を元気に迎えられましたことを大変嬉しく思います。

昨年は原材料の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギーや食料問題、外国為替相場での急激な円安、コロナ禍の長期化、物価上昇などによる消費者マインドの悪化など、様々な課題を抱え、経済は先行き不透明な状況が続きました。しかしながら、年末にかけ外国人観光客の受け入れ緩和などウィズコロナにおける社会経済活動の制限がほぼ解消され、まだまだ多くの課題を抱えていますが、国内消費の回復など国内経済の見通しも明るさを取り戻してまいりました。

さらに、年末開催されたワールドカップカタール大会におけるサッカー日本代表の大活躍に我々は大きな感動と勇気をもらいました。どんな相手でも、どんな苦境にたっても、諦めない心と勝ちに拘る行動をとること、そして前向きに日々努力を続けていれば必ず実を結ぶということを教えられました。

当社は本年より第三次中期経営計画の後半に入ります。「思い切ってやる！！」「何事にも臆せず挑戦する！！」という当社グループの強い決意・スローガンを改めて確認し、力強く実行に移し、実りある1年にしたいと思っています。また、企業価値向上のために〝生命関連産業〟のリーディングカンパニーを目指す〟という、当社のコア・コンセプトを一歩でも前進させるために、サステナビリティへの取り組みの強化とともに「社会・顧客の課題に向き合い、新たな価値を創造する」ことを必要不可欠と考えて事業展開してまいります。

具体的には製品販売事業において、消費者・社会のニーズとウォンツを捉えたスピーディーな商品開発と品質の向上を追求します。ウェルビーイングを実現できる商品・サービスを生みだし、新たな販売手法の取り組みにより、お客様への満足度を高め、サービスの向上に努めます。今後も、業界へ貢献し続けられる企業であるためにより一層尽力してまいります。

本年も引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。【ナカバヤシ株式会社社長】